

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-433	
評価技術名称 部分開口 構造用合板補強工法 真壁「上下あき」裏棧なし					連絡先 http://www. 〒 電話 _____ Fax _____				
概要	技術概要 真壁で梁及び土台と面材が接合されていない構造用合板補強。 床天井間のみを構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴 ・ 天井・床を解体することなく補強が可能。 ・ 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 ・ 一般流通品なので取り扱いが容易。					コスト サンプル構面 13,410 円/kN 設計見積り例 —			
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 ・ 評価番号 ・ 評価取得日 ・				実験実施機関 名古屋工業大学 その他				
仕様	適用範囲 構法 木造在来軸組工法 規模 3階建て以下 基礎、地盤 特になし 適用部位 内外壁 その他 特になし					写真・図 <p>部分開口 a+b ≤ 370mm</p> <p>四方受材は 正面から見て 40mm</p> <p>厚 12 @100</p> <p>600 ≤ W ≤ 1000</p> <p>真壁 裏棧なし</p> <p>構造用合板 厚 12mm 以上 釘 N50、CN50 @100mm 以下 川の字打ち、 四方受材 30×40mm 以上 釘 N75 @150mm 以下 または N90 @200mm 以下</p>			
	主要構成部材の仕様 構造用合板 厚 12mm 以上 釘 N50、CN50 @100 以下 間柱、継手受材なし、四方受材(縦のみ)あり								
	耐震性能 評価仕様: 真壁仕様 壁基準耐力 4.16kN/m 壁基準剛性 584kN/rad./m								
	A-111 からの低減係数 α = 0.8 壁基準耐力 5.2 × 0.8 = 4.16								
	設計方法 ①柱接合部による低減 取付部分が健全であること ②劣化による低減 取付部分が健全であること								
	施工者指定 特になし								
	その他								